

星になった宮沢賢治(後編3)

京都薬科大学 名誉教授 桜井 弘

賢治作品に感動した中原中也;小惑星『100675中原中也』

賢治は、多くの詩や童話、手紙を書き、現在では立派な全集や美しい絵本が刊行されていますが、生前に出版した書籍と言えば、1924年の詩集『春と修羅』と童話集『注文の多い料理店』の2冊だけでした。これらの書籍はほとんど売れなかったと言われていますが、幾人かの詩人たちは賢治作品に魅了されました。

詩人の草野心平(1903-1988)は、賢治の作品を読み、彼の非凡な才能に感動して、「現在の日本詩壇に天才があるとすれば、私はその名誉ある『天才』は宮沢賢治だと言ひたい」と述べています。⁶⁾『春と修羅』を詩人の高村光太郎をはじめ、東京の詩人たちにも紹介しました。

また、中原中也(1907-1937)は1928年に『春と修羅』を読み感激して、渋谷の夜店で1冊5銭で売られていたこの書を5冊くらい買い込んで、1冊を大岡に渡し、残りは「誰かにやるのだ」と言って持ち帰ったと大岡昇平は述べています。⁷⁾ 中也は、賢治を次のように語っています。

「彼は幸福に書き付けました。とにかく印象の生滅するまゝに自分の命が経験したことその何の部分かをだつてこぼしてはならないとばかり。それには概念を出来るだけ遠ざけて、なるべく生の印象、新鮮な現識を、それが頭に浮かぶまゝを、— つまり書いてある時その時の命の流れをも、むげに退けてはならないのでした。(中略)要するに彼の精神は、感性の新鮮さに泣いたのですし、いよいよ泣こうとしたのです。」⁸⁾

中原中也は山口市湯田出身の詩人です。12才の時に雑誌「婦人画報」に投稿した短歌「筆とりて」が入选し、文壇にデビューしました。賢治よりも短い30年の生涯に多数の詩を残しました。『山羊の歌』と『在りし日の歌』は特によく知られています。フランス語を学び『ランボオ詩集』を出すなどしてフランスの詩人の紹介にもつとめました。

1997年に中村彰正によって愛媛県久万高原天体観測館で発見された小惑星1997XP2は、中也を讃えて2008年に100675「Chuyanakahara」と名づけられました。賢治と中也は、生前には互いに出会うことはありませんでしたが、宇宙のかなたで、なかなか評



写真3. 中原中也
(<https://ja.wikipedia.org/wiki/中原中也> より)

価されなかった『春と修羅』を囲んで、楽しく議論していることでしょう。

星になった岩手県と『銀河鉄道の夜』をプロデュースしたKAGAYA:小惑星『19691岩手』と『11949加賀谷穰』

賢治が生涯の大半を過ごした花巻と盛岡を含む岩手県と太平洋沿岸地域で、賢治が生まれる2ヵ月前の1896(明治29)年6月25日に「明治三陸地震津波」が、また、賢治が亡くなる5ヵ月前の1933(昭和8)年3月3日に「昭和三陸地震津波」が発生しました。ともに三陸沖を震源として、前者はマグニチュード8.2~8.5、最大震度4の地震により海拔38.2mを記録する津波が発生し死者・行方不明者約2万2千人の犠牲者を出し、後者はマグニチュード8.1、最大震度5の地震により海拔28.7mの津波が発生し、死者・行方不明者約3千人の犠牲者を出しました。⁹⁾そして、2011(平成23)年3月11日には三陸沖を震源とした日本の観測史上最大規模のマグニチュード8.4を記録した最大震度7の超巨大地震が発生し、9mを超える津波が広範囲に起き、死者・行方不明者約2万2千人以上の犠牲者を出しました。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(3.11東日本大震災)」と名づけられました。¹⁰⁾

この大災害の一日も速い復興を願って、翌年の2012年5月、アメリカ・アリゾナ州にあるローウェル天文台のLONEOSにより1999年に発見されていた小惑星1999 RN214には岩手県に因んで19691「Iwate」と命名されました。この時、同時に被災した11の地域にも小惑星名がつけられました。

また賢治作品の普及に貢献した芸術家にも小惑星の名前がつけられています。小惑星番号11949が「Kagayayutaka」と名付けられました。この小惑星は1993年に北海道の津別観測所で円館金と渡辺和郎によって発見されました。天体写真家の藤井旭が、KAGAYAの天文普及とアーティストとしての業績を讃えて名前を提



KONICA MINOLTA

私たちは「宇宙」を作っている会社です。

— プラネタリウム生誕100周年 —

最新の光学・デジタル プラネタリウム機器の開発・製造から、独自の番組企画・制作・運営ノウハウに至るまで、プラネタリウムという“スペース”の可能性を追求し続けてまいります。

コニカミノルタ プラネタリウム株式会社

本社・東京事業所 〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3 TEL (03) 5985-1711
 大阪事業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町2-3-10 TEL (06) 6110-0570
 東海事業所 〒442-8558 愛知県豊川市金屋西町1-8 TEL (0533) 89-3570
 URL: <http://www.konicaminolta.jp/planetarium/>

画像：大阪市立科学館

案して、2003年9月、国際天文学連合(IAU)の小惑星命名委員会で正式に命名されました。

KAGAYA(加賀谷穰、1968年生まれ)¹¹⁾は、少年の頃から星にあこがれ、天文学を独学して、イラストレータとして独自の道を歩きました。2003年に賢治の「銀河鉄道の夜」を発表、2009年画集「銀河鉄道の夜」出版し、2006年の全天周プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」は、ご覧になられた人々も多いのではと思います。

最後に、これまで取り上げた宮沢賢治をめぐる小惑星を表1にまとめました。黄色と空色の部分が、後編2と3で取り上げた小惑星です。

表1. 宮沢賢治と小惑星

小惑星番号	小惑星の名前	仮番号	発見者	直径(km)	公転周期(年)
5008	Miyazawakenji 宮沢賢治	1991DV	杉江淳	7.2	3.3
11949	Kagayayutaka 加賀谷穰	1993SD2	円館金渡辺和郎	6.9	5.43
14447	Hosakakanai 保坂嘉内	1992VL	円館金渡辺和郎	7.9	5.23
19691	Iwate 岩手	1999RN214	ローウェル天文台 LONEOS	12.6	4.54
21016	Miyazawaseiroku 宮沢清六	1988VA	関勉	3.4	3.79
22352	Fujiwarakenjiro 藤原健次郎	1992UP ₃	円館金渡辺和郎	5.7	3.81
22355	Yahabananshozan 矢巾南昌山	1992WD ₁	円館金渡辺和郎	2.2	3.81
32858	Kitagamigawa 北上川	1993BA3	関勉	7.6	5.34
100675	Chuyanakahara 中原中也	1997XP2	中村彰正	約6	4.22

[引用文献とノート]

- 6) 草野心平 詩誌『詩神』1926年8月
- 7) 『校本 宮沢賢治全集 第10巻』月報
- 8) 『中原中也全集3』角川書店(1969)
- 9) 吉村昭『三陸海岸大津波』文春文庫(2004)
- 10) <https://ja.wikipedia.org/wiki/東日本大震災>
- 11) <https://ja.wikipedia.org/wiki/KAGAYA>